

令和7年度

当初予算(案)主要施策の概要

文化スポーツ観光局

(問合せ先)

文化スポーツ観光局総務室

企画調整担当課長 関根

電話 045-285-0902

目 次

ページ

I	令和7年度当初予算(案)・前年度予算比較表【文化スポーツ観光局】	1
II	令和7年度主要事業の概要【文化スポーツ観光局】	2
1	文化芸術施策の展開促進	2
2	障がい者スポーツの推進やアーバンスポーツの振興等による地域の盛上げ	2
3	国内外への戦略的プロモーション	3
4	各地域における観光資源の発掘・磨き上げ	3
5	多文化共生の地域社会づくり	3
6	eスポーツの活用	4
III	参考資料	
	アーバンスポーツの普及促進	5

I 令和7年度当初予算(案)・前年度予算比較表【文化スポーツ観光局】

(一般会計)

(単位：千円)

内 訳 科 目	令和7年度 当初予算 (案) (A)	令和6年度 当初予算 (B)	対前年度比較		本年度の財源内訳			
			(A)－(B)	(A)/(B) %	特 定 財 源			一般財源
					国 庫 支出金	県 債	その他	
(款) 総務費	(8,376,702)	(8,431,147)	(△54,445)	(99.4)	(64,168)	(35,000)	(1,520,392)	(6,757,142)
(項) 文化スポーツ 観光費	10,579,977	10,542,165	37,812	100.4	64,168	35,000	1,741,286	8,739,523
(目) 国際交流 推進費	(1,543,484)	(1,536,375)	(7,109)	(100.5)	(43,357)	(19,000)	(923,585)	(557,542)
	3,746,759	3,647,393	99,366	102.7	43,357	19,000	1,144,479	2,539,923
(目) 文化振興費	4,286,984	3,331,949	955,035	128.7	4,720	—	398,311	3,883,953
(目) スポーツ費	1,690,705	2,984,078	△1,293,373	56.7	16,091	16,000	196,142	1,462,472
(目) 観光事業 振興費	855,529	578,745	276,784	147.8	—	—	2,354	853,175
小 計	(8,376,702)	(8,431,147)	(△54,445)	(99.4)	(64,168)	(35,000)	(1,520,392)	(6,757,142)
	10,579,977	10,542,165	37,812	100.4	64,168	35,000	1,741,286	8,739,523
その他特定収入	—	—	—	—	—	—	15,147	△15,147
文化スポーツ観光局 計	(8,376,702)	(8,431,147)	(△54,445)	(99.4)	(64,168)	(35,000)	(1,535,539)	(6,741,995)
	10,579,977	10,542,165	37,812	100.4	64,168	35,000	1,756,433	8,724,376

(注) ()内は、給与費（令和7年度 2,203,275千円、令和6年度 2,111,018千円）を除いた予算額を示す。

Ⅱ 令和7年度主要事業の概要【文化スポーツ観光局】

〔新〕印は、令和7年度新規事業です。

丸数字は、事業の対象区域を示すものです。

- ① 全市町村
- ② 政令市を除く市町村
- ③ 政令市・中核市を除く市町村
- ④ 政令市・中核市・保健所政令市を除く市町村
- ⑤ 横浜市・川崎市を除く市町村
- ⑥ 町村のみ
- ⑦ 特定市町村
- ⑧ その他

1 文化芸術施策の展開促進

- 〔新〕(1) 文化芸術創造チャレンジ事業費 ⑦ 125,000千円
リニア神奈川県駅（仮称）工事現場を活用したエンターテインメントを発信するイベント及び今後の利活用に向けた検討等を行う。
また、芸術文化のまちづくりに取り組む相模湖地域において、地元と連携しバレエに関するイベントを新たに相模湖公園（相模原市緑区与瀬）で実施する。

- 〔新〕(2) 文化芸術地域展開促進事業費 ① 47,400千円
県民ホール本館（横浜市中区山下町）の休館中、文化芸術を県民が鑑賞できる機会を確保するとともに、県民ホール再開に向けて新たなファンの獲得を目指し、令和7年度の重点地域である鎌倉市を中心にバレエや音楽の公演を実施する。

- 一部〔新〕(3) 県民ホール本館指定管理費（地域展開事業費） ① 252,200千円
県民ホール本館の休館中、文化芸術を県民が鑑賞できる機会を確保するため、県民ホールでこれまで培ってきたノウハウを生かして音楽やダンス等の公演等を県内各地で開催する。
特に湘南を中心として、新たに市町等と連携したオペラや演劇の公演等を行う。

- 一部〔新〕(4) 文化芸術情報発信事業費 ① 49,541千円
文化・芸術イベント等の情報を一元的に発信するポータルサイトの「マグカル・ドット・ネット」に、湘南の魅力的なコンテンツを発信する特設ページを新設する。

- 〔新〕(5) 県民ホール本館再整備 ① 67,800千円
令和7年3月末で休館する県民ホール本館の再整備にあたり、施設のコンセプトや機能等をまとめた基本構想を策定するとともに、休館に際して県民ホール本館の周囲に県民ホールの歴史等を描いたフェンスを設置する。

2 障がい者スポーツの推進やアーバンスポーツの振興等による地域の盛上げ

- 一部〔新〕(1) 東京2025デフリンピックの機運醸成 ① 100,525千円
東京2025デフリンピックの開催を契機に、聴覚障がい者への理解や障がい者スポーツの推進を図るため、大会前イベントの開催や、新たに海外選手団の事前キャンプの受入れ等により、大会の機運醸成を行う。

新(2) アーバンスポーツの普及促進 ① 52,983千円※

子どものスポーツ実施率の向上を図るため、スケートボードをはじめとするアーバンスポーツの普及を促進する取組として、県内各地で体験会を開催するとともに、市町村が提案するアーバンスポーツ施設等の整備に対して補助する。(内容の詳細は5ページに記載)

※ 予算額には他局計上分を含む。

3 国内外への戦略的プロモーション

一部**新**(1) 国内外観光客誘致のための戦略的取組 ① 169,707千円

国内観光客の関心が高いテーマに応じたプロモーションを実施するほか、外国人観光客の誘致を促進するため、新たに都内滞在中の観光客に対する「旅ナカ」のプロモーションや、近隣自治体との連携による訪日観光プロモーション等を実施する。

新(2) かながわDMOへの補助 ① 274,311千円

国内外の観光客の誘致を促進し、地域経済の更なる活性化を図るとともに、かながわDMOとの分担による県の業務見直しを進めるため、かながわDMOが行う観光レップを通じた現地でのセールスや、情報収集・発信等の観光プロモーション事業に対して補助する。

(3) GREEN×EXPO 2027(国際園芸博覧会)に向けた取組

新ア 国際園芸博覧会催事場共同利用負担金 ① 330,000千円

県のステージ出展において利用する中催事場の県使用分に係る建設費を負担する。

新イ 国際園芸博覧会文化出展事業費 ① 33,788千円

県の出展テーマである「Vibrant INOCHI」を来場者にわかりやすく伝えるオリジナルミュージカルの上演に向けた準備を行う。

新ウ デスティネーションキャンペーン推進事業費 ① 100,000千円

GREEN×EXPO 2027を契機とした観光振興として、JRと地域が共同で実施する「デスティネーションキャンペーン」を横浜市と連携して行う。

4 各地域における観光資源の発掘・磨き上げ

一部**新**(1) かながわ観光連携エリア推進事業費補助 ⑦ 150,000千円

横浜・鎌倉・箱根に次ぐ、多くの観光客が訪れる魅力ある観光地域づくりを推進するため、「観光の核づくり地域(城ヶ島・三崎、大山、大磯)」が周辺地域と連携して形成した「かながわ観光連携エリア」が策定する観光戦略に基づく観光資源の発掘・磨き上げや統一的な観光PR等の周遊を促す取組に対して新たに補助する。

5 多文化共生の地域社会づくり

一部**新**(1) 多文化共生推進事業費 ① 11,523千円

県民の多文化理解を更に促進するため、民族団体やNPO等とともに実施する多文化共生事業の企画運営に対する支援等を行うとともに、第9回アフリカ開発会議の機運醸成を図る。

(2) ベトナム文化等交流事業費 ① 56,831千円

両地域の継続的な成長と発展を目指し、文化、食、観光、経済など幅広い分野での相互交流を促進するため「ベトナムフェスタ in 神奈川」及び「KANAGAWA FESTIVAL」の開催の支援等を行う。

- (3) 多言語情報支援事業 ① 65,101千円
 外国籍県民等が安全・安心に過ごすことができる環境をつくり、多文化共生社会を実現するため、「多言語支援センターかながわ」において多言語での情報支援を行う。
- (4) 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業 ① 59,744千円
 地域における日本語教育の総合的な体制づくりを進めるため、各地域の実情に応じた支援等を行うコーディネーターを配置するとともに、日本語教室の運営等に取り組む市町村に対して補助する。
- (5) 医療通訳派遣システム事業費 ① 4,081千円
 外国籍県民等が安心して医療を受けられるように、協定を結んだ医療機関からの派遣依頼を受け、医療通訳を派遣するシステムの運営を行う。
- (6) グローバル人材支援事業費 ① 77,354千円
 多文化共生社会及びグローバル人材が活躍する活力ある神奈川の実現を図るため、「かながわ国際ファンクラブ KANAFAN STATION」を拠点に、交流機会の提供や就職支援講座、合同会社説明会の開催など、外国人留学生の県内定着に向けた取組を行う。

6 eスポーツの活用

- 新 (1) eスポーツ活用事業費 ① 9,064千円
 ベトナムフェスタ等の県の各種イベントにeスポーツを活用し、「ともに生きる社会の実現」などの神奈川らしい施策の推進を図る。

問合せ先

1 (1)、(4)、3 (3)ア、イ	マグカル担当課長	小坂橋	電話 045-285-0760
1 (2)、(3)、(5)	文化課長	高橋	電話 045-210-3800
2 (1)	スポーツ課健康・パラスポーツ推進室長	松田	電話 045-285-0867
2 (2)	スポーツ課長	矢島	電話 045-285-0791
3 (1)	観光プロモーション担当課長	笹野	電話 045-210-5762
3 (2)	観光課長	橋本	電話 045-210-5760
3 (3)ウ、4 (1)	観光地域連携担当課長	横山	電話 045-210-5761
5 (1)～(6)	国際課長	矢田	電話 045-210-3740
6 (1)	総務室企画調整担当課長	関根	電話 045-285-0902

Ⅲ 参考資料

⑨ アーバンスポーツの普及促進

1 目的

子どものスポーツ実施率の向上を図るため、スケートボードをはじめとするアーバンスポーツの普及を促進する取組として、県内各地で体験会を開催するとともに、市町村が提案するアーバンスポーツ施設等の整備に対して補助する。

2 予算額 52,983 千円（他局計上分を含む。）

3 事業内容

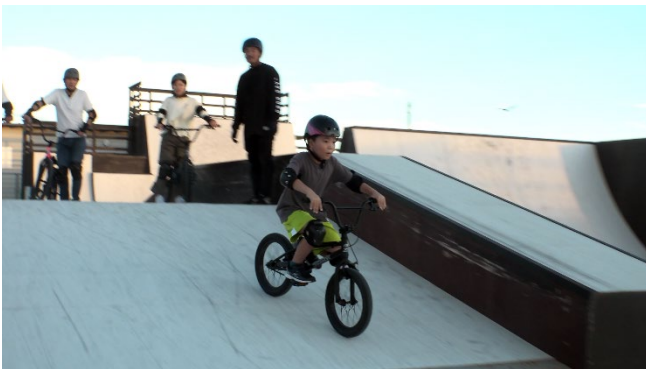
(1) アーバンスポーツの発表会、体験会の開催等

アーバンスポーツを身近なスポーツとするため、誰でも参加し、技を披露できる発表会や県内各地での体験会を開催するとともに、ルール・マナー等の普及啓発を行う。

(2) アーバンスポーツの環境整備

県内のどの地域でも、身近な場所でアーバンスポーツができる環境を整備するため、市町村が行うアーバンスポーツ施設等の整備に対して補助する。

また、アーバンスポーツの普及促進やすそ野を広げるため、アーバンスポーツ施設整備に向けた基礎調査を実施する。



問合せ先

スポーツ課長 矢島 電話 045-285-0791